

平成 23 年 9 月 14 日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀  
(コード番号：4582)  
問合せ先 取締役兼常務執行役員 前川 裕貴  
CFO 管理本部長  
(TEL. 03-5472-1125)

## 平成 23 年 12 月期の業績予想について

平成 23 年 12 月期（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

### 【単体通期】

(単位：百万円、%)

項目	平成 23 年 12 月期 (予想)			平成 22 年 12 月期 (実績)			平成 23 年 12 月期 第 2 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比	前年比		構成比
売上高	1,933	100.0	133.3	1,449	100.0	121.7	982	100.0
営業利益	△2,351	△121.6	---	△612	△42.3	---	△701	△71.4
経常利益	△2,398	△124.1	---	△638	△44.0	---	△700	△71.2
当期(四半期)純利益	△2,407	△124.5	---	△642	△44.3	---	△707	△72.0
一株当たり当期 (四半期)純利益	△164.4 円			△5,933.47 円 (△59.33 円)			△53.56 円	
一株当たり配当金	一円一銭			一円一銭			一円一銭	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 22 年 12 月期(実績)及び平成 23 年 12 月期第 2 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。平成 23 年 12 月期(予想)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、上場による公募株式の増加(5,100,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。なお、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大 765,000 株)及び新株予約権の行使による増加見込みは反映しておりません。
3. 当社は、平成 23 年 6 月 2 日付で 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。当該分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を( )内に記載しております。

ご注意：この文章は、当社の業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

## 【平成 23 年 12 月期業績予想の前提条件】

(全般的な見通し)

医療用医薬品市場は、大型ブランド品の相次ぐ特許切れとそれに伴う後発医薬品浸透率の上昇、各国政府による医薬品予算の抑制施策の導入・実施等を背景に、主要先進国の成長率は低水準に止まる一方、中国をはじめとする新興医薬品市場は、後発医薬品が中心ではあるものの 2 ケタの高い成長が続くと予想されます。

このような事業環境の変化を背景として、製薬会社も経営戦略の転換を迫られており、今後も国内外でグローバルな事業再編 (M&A) が展開されるものと思われま

す。一方で、アンメット・メディカル・ニーズ (これまで有効な治療薬がなかったために、満たされなかった患者ニーズ) の高い疾患領域や、技術革新により大幅な治療のパラダイム変化が期待される疾患領域におきましては、引き続き新薬開発の期待が高まるものと考えられます。

このような事業環境下におきまして、当社は開発難易度が高い「がん、血液、自己免疫疾患」の 3 治療領域に特化し、「空白の治療領域」となっている医薬品の開発・商業化を進めております。

また、事業領域もホームマーケットである日本だけではなく、今後高い成長が期待できる中国、韓国、台湾、シンガポールをも対象とすることで、アジアの「スペシャリティ・ファーマ」という独自のポジショニングを目指してまいります。

当社は、開発第 1 号品である抗がん剤 SyB L-0501 につきまして、平成 22 年 10 月に再発・難治性非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞リンパ腫の適応で製造販売承認を取得いたしました。本剤は、平成 22 年 12 月よりトレアキシシという商品名で、エーザイ株式会社を通じて販売されております。

当社は、企業価値の更なる向上を図るために、トレアキシシの適応拡大を積極的に進めるとともに、その他のパイプラインにつきましても鋭意開発を進めてまいります。なお、当社はパイプラインの一層の価値向上を図るため、平成 23 年 7 月に新規開発品である抗がん剤 SyB L-1101/C-1101 (一般名:Rigosertib) を米国オンコノバ社より導入しました。なお本剤につきましては、今後、骨髄異形成症候群及び固形がんでの適応取得に向けた開発を予定しております。

### (a) 売上高

トレアキシシ (SyB L-0501) の製品販売、SyB L-0501 の韓国における承認取得に伴うマイルストーン収入により、平成 23 年 12 月期の売上は 1,933 百万円を見込んでおります。

### (b) 売上原価

トレアキシシ (SyB L-0501) の製品仕入等により、平成 23 年 12 月期の売上原価は 1,262 百万円を見込んでおります。

ご注意：この文章は、当社の業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書 (並びに訂正事項分)」をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(c) 販売費及び一般管理費

平成 23 年 12 月期より SyB L-0501 の適応拡大の開発が本格化すること、新規開発品 SyB L-1101/C-1101 契約一時金支払の発生等により研究開発費は前年度比 92.0%増加し、2,146 百万円となる見込みです。この結果、平成 23 年 12 月期の販売費及び一般管理費は、3,021 百万円（前年度比 66.3%増）を見込んでおります。

(d) 営業外収益・費用

営業外収益については、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）より助成金として受領した 51 百万円を計上している一方、営業外費用として為替差損 28 百万円等を見込んでおります。

(e) 特別損益

資産除去債務の過年度負担分として 5 百万円を計上しております。

以上

ご注意：この文章は、当社の業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。